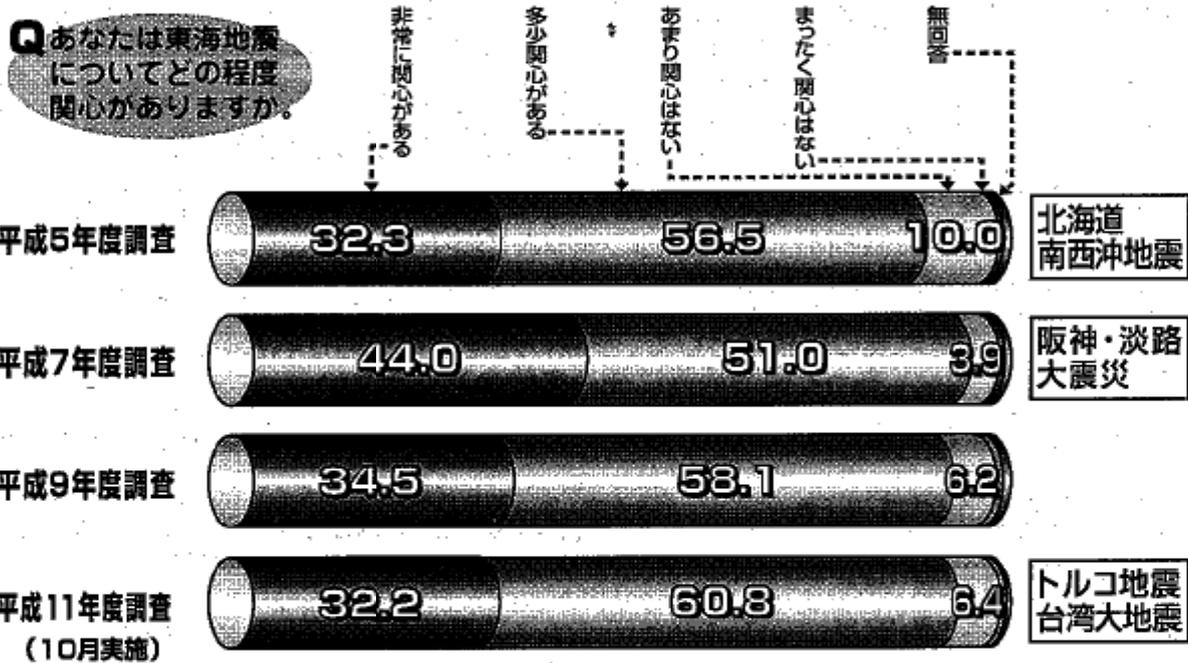


東海地震についての 県民意識調査結果の概要

平成12年2月

**東海地震への関心が低滞しています！
もっと身近に起こりうることを考えてください。**



平成11年9月21日未明に台湾大地震が発生しましたが、その直後に実施した調査でも東海地震に対して「非常に関心がある」人が増えていません。身近な地域で起こった大きな災害です。どんなことでも教訓に意識を改めてください。

このリーフレットは、平成11年10月に県内にお住まいの方2,000人を対象に実施した「東海地震についての県民意識調査」結果の主要項目をまとめたものです。この結果を家庭や地域における地震防災対策の御参考にさせていただければ幸いです。

- 調査地域 一般県民調査 静岡県下30市町村
- 調査対象 選挙人名簿より抽出された男女個人(20才~69才)
- 対象者数と回収数 発送2,000人 実回収1,279人(64.0%)
- 調査方法 郵送調査法
- 実施機関 (株)サーベイリサーチセンター静岡事務所

注:①計算上の都合、四捨五入してあるので合計が100%にならない場合があります。
②複数解答の場合は合計が100%を超えることがあります。

東海地域では、大きな地震は周期的に発生し、今後、発生危険が予測されます。



あなたは現時点で東海地震は予測できると思いますか。



阪神・淡路大震災はM7.2 (気象庁) で死者約6,400人 (平成12年現在。関連死含む)。
台湾大地震はM7.6で死者約2,400人 (99年10月21日現在)。
予想される東海地震はM8.0で死者2,574人 (予知なし)。重中等傷者91,346人 (予知なし)。

**東海地震の規模からして、多数の死傷者が予想されます。
もっと東海地震に関心を強めてください。**

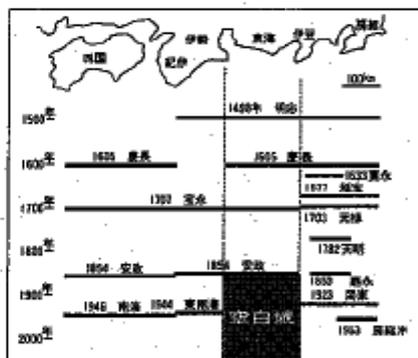
東海地域の地震の周期

107年	1498年	明応地震 (M8.4)
102年	1605年	慶長地震 (M7.9)
147年	1707年	宝永地震 (M8.4)
146年	1854年	安政東海地震 (M8.4)
	2000年	(現在)

東海地域には、昔から大規模な地震が周期的に発生し、津波や山崩れ、家屋の倒壊による被害が大きかったことが、古文書に記されています。
1854年の安政東海地震からすでに146年経過し、地殻変動の異常も駿河湾を中心に見られ、地震活動の空白化もいぜんとして継続しています。
こうした事実から、近い将来東海地震が発生することが予測されています。

地震活動の空白域に当たっている

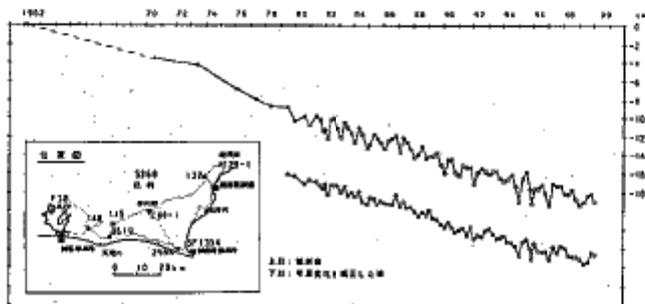
再来周期と地域性 (羽島徳太郎による)



地震活動の活発な地域の中に活動の静穏化する地域が存在することがあり、これを地震の空白域と呼んでいます。遠州灘から駿河湾にかけて、空白域となっていて、地震のエネルギーが蓄積されていると考えられています。

掛川～御前崎の地殻変動

水準点2595 (浜岡町) の経年変化
基準: 140-1 (掛川市喜町)
基準年: 1962年
水準点間距離 20.8km

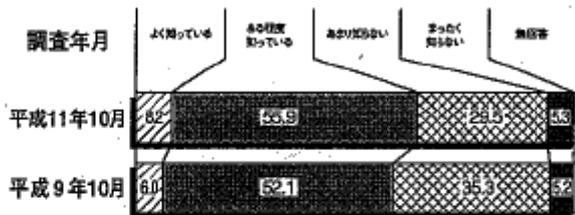


掛川～御前崎の沈降とは

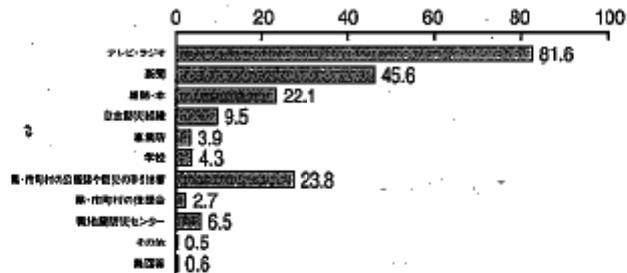
掛川～御前崎間の沈降は東海地震の“前兆現象”です。
御前崎の沈降は、フィリピン海プレートがユーラシアプレートに潜り込む際に、ユーラシアプレートが引きずり込まれている根拠の1つとされています。この沈降が一気に戻る現象がすなわち東海地震です。1962年から現在まですでに約18cm沈降しています。

知っていますか？ 東海地震の仕組みを。

**Q 東海地震が発生する仕組み
(メカニズム)
を知っていますか**



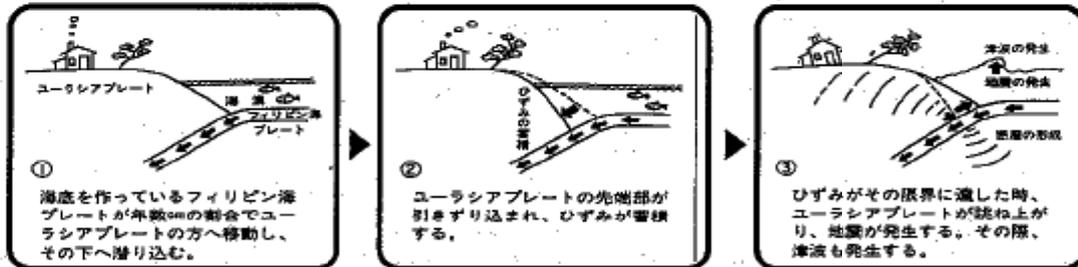
Q 何から知識を得ましたか



東海地震の発生の仕組みをよく知っている人は1割弱です。
発生のメカニズムを「よく知っている」人ほど、防災対策は進んでいます。

県及び市町村では、地震についての貸し出しビデオやパンフレットを用意してあります。自主防災組織をとおして、是非ご活用ください。

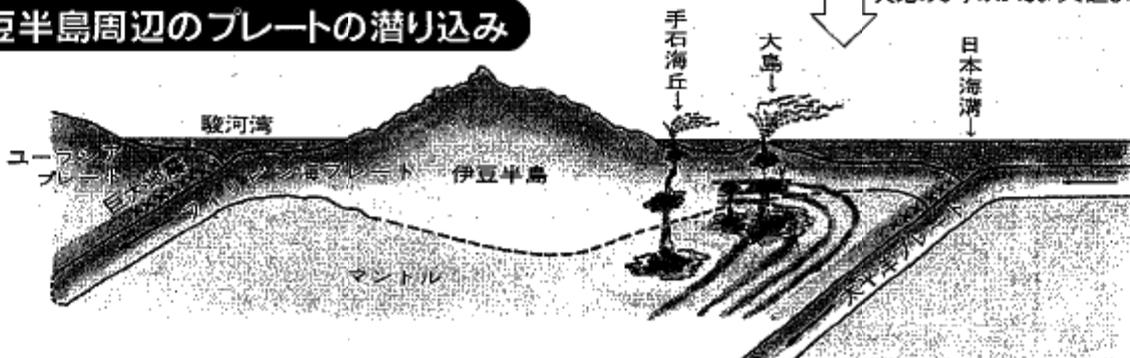
東海地震の発生機構



大地のひずみが たまと起こる

地震は、地下の一部分に大きな力がはたらいて大地がひずみ、その岩石の強さでは耐えきれなくなったとき、急にその部分が破壊されて起こると考えられています。これは、駿河トラフといわれる大地のくぼみで、伊豆半島を乗せたフィリピン海プレートが潜り込むときに、静岡市や浜松市などを乗せたユーラシアプレートを引きずり込んでいくからです。そのため、この付近で大地のひずみがどんどんたまり、このひずみが限界に達して、大地が破壊されて跳ね上がったときに大地震が起こると考えられています。

伊豆半島周辺のプレートの潜り込み

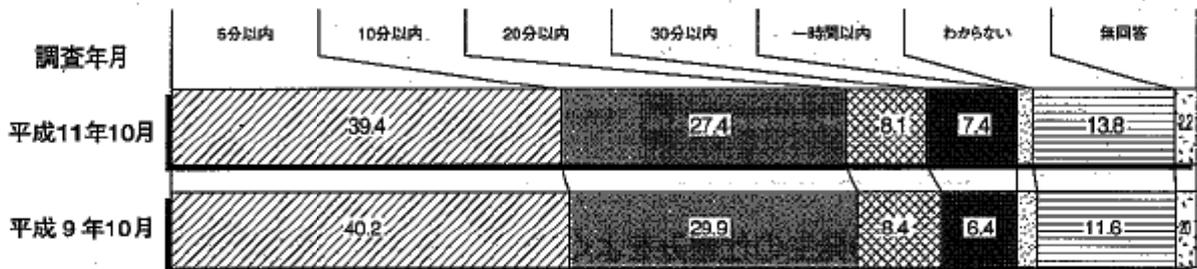


太平洋プレートのもぐり込みに関連する大島の噴火や手石海丘の噴火

東海地震が発生した場合は、 阪神・淡路大震災時のような大きな被害と 津波による被害が予想されます。



東海地震発生後、津波は早いところでは
どのくらいの時間で沿岸に来ると思いますか



津波のくる時間を5分以内と予想された方は40%でした。津波は予想以上に速いスピードで襲ってきます。下図で津波の襲来時間を確認してください。

東海地震が発生した場合、駿河湾では早いところで0~5分で沿岸に達します。海を伝わる津波の早さは、飛行機や新幹線なみです。

地震が起こったらただちに避難を!!

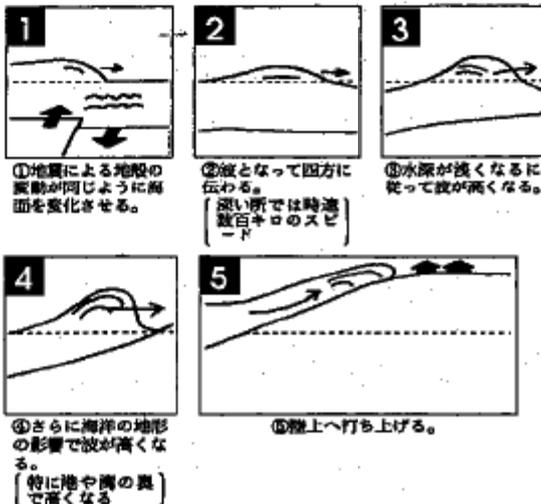
高台又は
避難ビルへ

津波の危険が予測される地域には、津波襲来時に避難が可能なビル(3階建以上)が設定してあります。「避難ビル」との看板が明示してありますので、確認しておいてください。



北海道南西沖地震

津波の発生する様子



津波の襲来時間

東海地震発生時に予測される津波の襲来時間(単位:分)

